

とやま いわせ 回船問屋群のある街並み 富山市岩瀬のまちづくり



観光客が訪れる 修景された街並み



まちづくりについて意見交換をした夜なべ談義



重要文化財森家を使用したイベント

富山湾に面する富山市岩瀬地区は、江戸期から明治期にかけて北前船の寄港地として栄えた街です。岩瀬地区は国指定重要文化財（森家）をはじめ、旧回船問屋が多く残る歴史的風情ある街ですが近年は老朽化や建替え、生活様式の変化に伴う改修等により、その岩瀬らしい風情が消え、賑わいもなくなりつつありました。

そのような中、岩瀬の街並みをかつての趣を取り戻そうと平成11年に地域住民28名による「岩瀬大町新川町通り街並整備推進協議会」が発足され、先進地視察や活性化のためのイベントなどを

開催しながら、まちづくりについて話し合ってきました。

そのような活動の中で、平成13年に街並コースづくりや沿道の伝統的の家屋の継承など街並修景整備の方針が策定され、富山市へ提出されました。富山市はそれに応えるかたちで、平成14年度から舗装、街灯、サイン、無電柱化、そして建築物34棟の修景を行いました。

危機感をもった地元の動きが行政を動かし、修景整備の結果、観光客が増加しており、現在、住民の観光案内ボランティア活動につながり賑わいを取り戻しています。



案内看板

■所在地

富山県富山市東岩瀬町 他

■活動内容

- ・街並整備の方針の検討、提言
- ・テーマ別の岩瀬探索コースの検証
- ・地域の景観資源を活用したイベントの企画・開催

■活動主体名

岩瀬大町新川町通り街並整備推進協議会

■応募者又は推薦者・担当部局名・連絡先等

富山市都市整備部都市政策課
電話番号：076-443-2105

